

一般 会計

歳入
270億7850万円

歳出
257億8934万円

令和3年度の一般会計決算と特別会計決算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

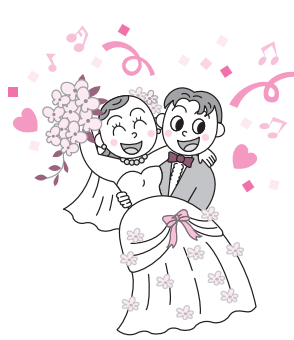
委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、いずれも認定されました。

一 般 会 計

広域サービス推進事業

Q 結婚支援の事業の状況は。

A **政策推進課長** 令和3年度に埼玉県、市町村、企業、民間団体が連携して運営している、「SAITAMA出会いサポートセンター運営協議会」に加入し、広域のかつ総合的な結婚支援を開始した。3年度は1人が成婚している。



戸籍・住民基本台帳管理運営事業

Q マイナンバーカードの交付率向上の取組は。

A **市民課長** 3年度の交付率は41・3割、前年度と比較して1万528件増加した。

取組としては、令和4年1月5日から20日まで、市内の各市

民センターに出張して246人の申請を受け付けるなどの対応を行った。

収納事務電子処理化事業

Q 利用状況と効果について。

A **収納課長** ペイジー口座振替受付サービスでは、利用数が721件で全体の2・9割である。預貯金等照会電子サービスについては、5531件で全体の46・5割にあたる。

効果については、どちらのサービスも大幅な簡略化が進んだ。1か月半程度かかっていた口座振替の開始までが、約2週間に短縮し、最大50日程度かかっていた財産調査などが、3日程度で結果が分かるようになり、業務効率の向上が図られた。

市内進出事業者等支援事業

Q 事業の周知について。

A **産業振興課長** 3年度に特定創業支援事業「つるがしま創業塾」を受けた7人のうち6人が創業した。また、市内進出事業者等に対して、家賃支援が1件で、30万円を支出した。

ホームページ、チラシなどによる周知、商工会、宅地建物取引業協会に協力を依頼するなど、様々な方法で周知を行った。

自治会・地域支え合い協議会活動感染症対策支援事業

Q 自治会における補助金の使途と今後の活動状況は。

A **地域活動推進課長** 工事を伴うものでは、トイレの洋式化や手洗いの自動水栓化のほか、空調、換気扇及び網戸の整備に活用された。備品の整備としては、空気清浄機、消毒液自動噴霧器、サーマルカメラ等の購入である。

会館を利用する環境が整った、健康体操を再開できたなど、本事業に対する感謝と今後の活動への期待の声をいただいた。全ての活動が復活・活発化できたわけではないが、会議やサロン活動などの再開につながったと捉えている。

高齢者実態把握事業

Q 事業の成果は。

A **健康長寿課長** 訪問した4193人のうち、直接、または電話などでお話してきた方は3221人であった。その中で、29人の方が介護認定申請につながり、309人の方は継続的な見守りを今後も行う。また、シルバースポーツやスマホ教室などの新規事業につなげ

ることができた。

多子世帯応援事業

Q 多子世帯応援事業の実績は。

A **こども支援課長** 多子世帯の子育てを応援するために、第2子以降のお子さんを出産した家庭に対して、第2子1万円、第3子以降は56人に5万円支給した。

ることができた。



生活困窮者等自立支援事業

Q 就労支援の成果は。

A **福祉政策課長** 生活困窮者17人の方から就労に関する相談があり、就労支援プログラムの作成や就労先の紹介などを行った。その結果、10人の方が就労できた。生活保護を受給中の方については、支援者数16人のうち11人の方が就労できた。

放課後児童対策事業

Q 目的と成果について。